

平成 27 年 8 月 3 日

工賃検討部会活動報告

1、工賃検討部会の目的

吹田市の障がい者の工賃の向上を目的とし、販売先の拡大促進・支援者のスキルの向上を目指す。

2、所属団体 担当者

第 1 さつき障害者作業所	久保	ほほえみ	横田
第 2 さつき障害者作業所	松原	かぼちゃのお家	山口
ワークセンターくすのき	吉田	Nigella	笹川 水谷
就労支援センターみち	近藤	第 1 ヒューマン	香田 藤井
ぷくぷくワールド	高田 坂本	第 2 ヒューマン	井口
コミュニティーキャンパス谷中		工房ヒューマン	大宮
ブルーリボン	下郡		
サフラン	入澤 大貫		

3、工賃の現状

障がい者事業所が、それぞれ自主製品の販売や業務委託等で売り上げを得て、製造原価を引いた分を全て工賃として支払っている。1 か月の売り上げを利用者の人数で分けるため低額になっている現状。平成 25 年度の吹田市の平均工賃は 14,843 円で大阪府の平均 15,428 円より下回っている。利用者が年金を含めても生活をするのは非常に困難な現状がある。

4、活動内容

① 課題の認識と取り組みについて

昨年度末に実施したアンケートの中で、お互いの事業所の状況を知りたいとの内容があったため、毎回 1 つの事業所に事業所の概要、工賃等について報告を行う。

その際、報告を行う事業所から抱えている課題等を提案してもらい、報告後、その課題等について、小さい班に分かれてディスカッションを行う。

また、工賃の考え方等のアンケートを毎年実施し、情報を積み上げていくことで、意識の変化を知る材料にしていきたい。

事業活動内容

各事業所による事業報告以下の項目に沿って報告を行う

あ) 事業所概要

い) 取り組んでいる仕事の紹介

- ・概要 ・導入の経緯 ・様子（できれば画像も）
- ・取り組んでいる中での工夫や課題、悩み等
- う) 工賃について
 - ・概要（日給か時給か、平均月間支給額や規約（取り決め）の有無等
 - ・支給額の設定（決定権はどこにあるか） ・目標設定はあるか
 - ・利用者は工賃をどのように使っているか
- え) 課題・話し合いたい点

②障がい者優先調達推進について

-2.吹田市の現状

- ・実績及び目標額（単位：円）

年度	25年度	26年度	備考
役務（件数）	29,756,674（5）	30,000,000（5）	公園清掃・花壇管理・駐輪場管理
物品（件数）	1,703,590（6）	2,000,000（5）	クッキー・名刺 など
合計	31,460,264	32,000,000	前年度比 101.7%

- ・役所内の機構

「障がい者優先調達推進委員会」を発足

25年3月に庁内にて説明会を実施

→ 実施後、各部局から仕事が下りてきている（雑草抜き/下水道部、名刺/議会事務局）

- ・課題

あ) 各部局ともに制度の趣旨がほとんど浸透しておらず、積極性に欠けるなど意識が低い

い) 障がい者団体が何ができるのか、責任をもってこなせるのかが見えていない

う) 障がい者団体に回すことで、コスト増になる

え) 契約の際のスピーディーな決断を求められる場合などに弱い